新技術概要説明資料（１／５）

		登録No.	1857
名称	コンフィグセントル	収受受付年月日	令和8年6月12日
		変更受付年月日	
副題	コンクリート検知センサーにより二次覆工打設を自動で行うシステム	開発年	令和4年6月10日
区分	☐1.工法　☐2.機械　☐3.材料　☐4.製品　☑5.その他	番号：	5
分類	1-3-5.道路／トンネル工		
キーワード	☑１.安全・安心　☐５.公共工事の品質確保・向上		1
	☑２.環境　☐６.景観		2
	☐３.情報化　☐７.伝統・歴史・文化		4
	☑４.コスト縮減・生産性の向上　☐８.リサイクル	番号：	

国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）
	近畿地方整備局	2026.4.11	KK-250011	事前

開発目標（選択）				
	☑1.省人化	☐5.耐久性向上	☐9.地球環境への影響抑制	1
	☑2.省力化	☑6.安全性向上	☐10.省資源・省エネルギー	2
	☐3.経済性向上	☐7.作業環境の向上	☐11.品質の向上	6
	☐4.施工精度向上	☐8.周辺環境への影響抑制	☐12.リサイクル性向上	番号：

活用の効果	従来技術名：	人力による型枠バイブレーター管理（締堅め）			
1.経済性	☐1.向上（　%）	☐2.同程度	☐3.低下（　%）	番号： 1	6.10%
2.工程	☐1.短縮（　%）	☐2.同程度	☐3.増加（　%）	番号： 2	
3.品質・出来型	☐1.向上	☐2.同程度	☐3.低下	番号： 2	
4.安全性	☐1.向上	☐2.同程度	☐3.低下	番号： 1	
5.施工性	☐1.向上	☐2.同程度	☐3.低下	番号： 1	
6.環境	☐1.向上	☐2.同程度	☐3.低下	番号： 2	
7.その他	☐1.　（定義済みの値なし）			番号： ー	

開発体制	☑1.単独　☐2(1)共同研究(民民)　☐2(2)共同研究(民官)　☐2(3)共同研究(民学)	番号：	1

開発会社	㈱エムケーエンジニアリング	販売会社		協会名	

問合せ先				
技術	会社名： ㈱エムケーエンジニアリング	住所：大阪市福島区吉野１丁目20-30 阪神野田ビル10F		
	担当部署： 技術営業部	TEL：	06-6443-7060	
	担当者名： 源石大輔	FAX：	06-6443-7061	
		mail:	mke_eigyo@nifty.com	
営業	会社名： ㈱エムケーエンジニアリング	住所：大阪市福島区吉野１丁目20-30 阪神野田ビル10F		
	担当部署： 技術営業部	TEL：	06-6443-7060	
	担当者名： 源石大輔	FAX：	06-6443-7061	
		mail:	mke_eigyo@nifty.com	

（概要）

スライドセントルに予め設置された複数のコンクリートセンサーにより、覆工コンクリート打設を自動で施工するシステム。

新技術概要説明資料（２／５）

新技術名称	コンフィグセントル	登録No. 1857

（特　徴）

（長　所）人力による二次覆工コンクリート打設作業を、セントルに予め設置された複数のコンクリート感知センサーにより、自動化した技術。新技術の活用により、①センサーに基づいた打設が可能となり、打設高さのバラつきが無くなり、左右均等打設が可能となるため品質が向上する。②従来は６名であった作業員が４名となるため、省人化となり経済性が向上する。③狭隘な場所での作業が削減されるため、作業環境が向上する。

（短　所）特になし

（施工方法）

①セントル移動　・セントルを脱型後、次打設位置まで移動しセットする。打設開始前にセンサーの動作確認や、タッチパネル式の表示器の確認をする。　②覆工コンクリート打設・生コンクリート試験を行い、コンクリート性上を確認する。・打設が開始すると、コンクリート検知センサーの情報が自動制御システムに送信される。・センサーの情報をもとに自動打設システムが稼働する。
③打設終了　・打設終了後システム電源を遮断し、後片付けをする。

（施工単価等）	□1(1).歩掛りあり（標準）　☑1(2).歩掛りあり（暫定）　□2.歩掛りなし	1（2）
掲載刊行物	建設物価（　有　・　(無)　）　掲載品目（　　）	
	積算資料（　有　・　(無)　）　掲載品目（　　）	
その他（カタログなど）	（　　）	

コンフィグセントル　カタログ

積算資料等

【共通】・施工内容：山岳トンネル（NATM)工事における覆工コンクリート打設・施工数量：1000m・施工場所：京都府　・労務単価：令和8年国土交通省公共工事設計労務単価表　・機械損料：自社単価（全国共通）

施工管理基準資料等

・取扱説明書に基づき、センサー反応とシステム連動をモニターおよび実物で目視確認する。

新技術概要説明資料（３／５）

新技術名称	コンフィグセントル	登録No.	1857

（適用条件）

（適用できる条件）①自然条件　特になし②現場条件　特になし③技術提供可能地域　制限なし

（適用できない条件）トンネル（NATM)工事覆工工以外

（設計上の留意点）

延長、内空断面、曲率半径、勾配、覆工厚など事前に現場状況に応じた配置を検討する。

（施工上・使用上の留意点）

コンクリート打設開始前にセンサーの作動確認やタッチパネル式の表示器の動作確認を行う。

（残された課題と今後の開発計画）

特になし

（実験等作業状況）

施工中における動作確認

（添付資料）

実験資料等

添付資料１実証試験

その他

添付資料2積算資料、カタログ

特　許	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　☑4:無し	番号	4
		特許番号	
実用新案	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　☑4:無し	番号	4
		新案番号	

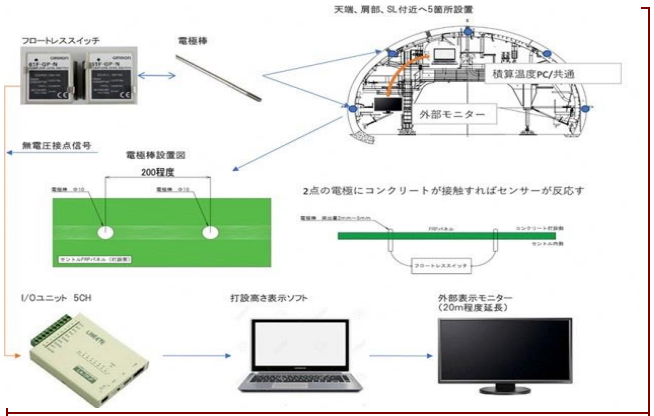
評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号
	証明年月日	証明年月日
	制度等の名称	証明機関
	制度等の名称	制度等の名称
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号
	証明年月日	証明年月日
	証明機関	証明機関
	証明範囲	証明範囲

新技術概要説明資料（４／５）

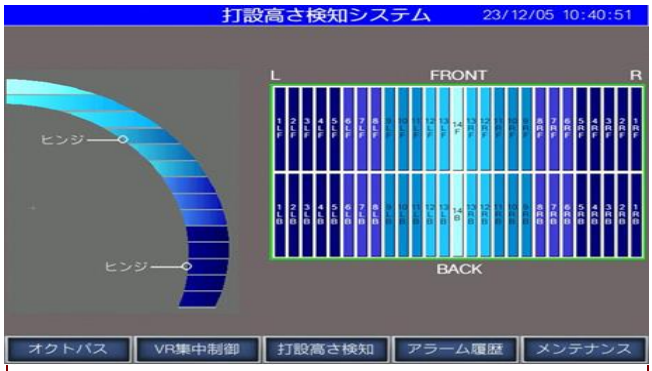
新技術名称	コンフィグセントル		登録No. 1857
施工実績	実績件数	公共機関:	民間:
発 注 者	施工時期	工 事 名	CORINS登録No.
NEXCO西日本	2023/9/1～ 2024/10/15	新名神高速道路宇治田原トンネル東工事	

新技術概要説明資料（５／５）

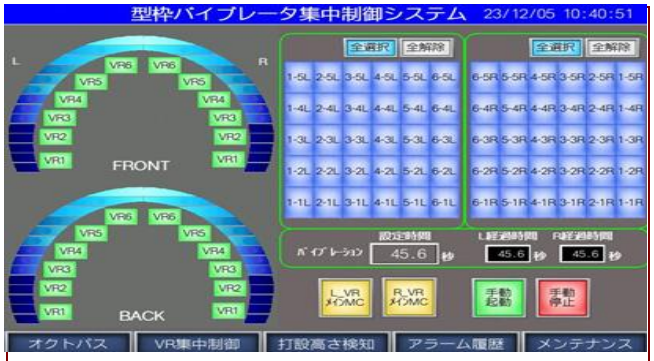
新技術名称	コンフィグセントル	登録No. 1857



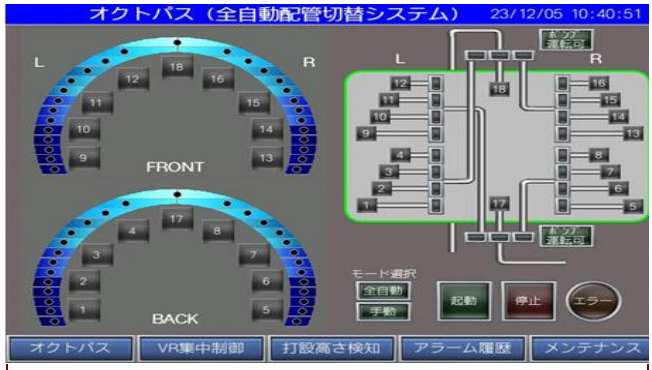
システム概要図



打設高さ検知画面



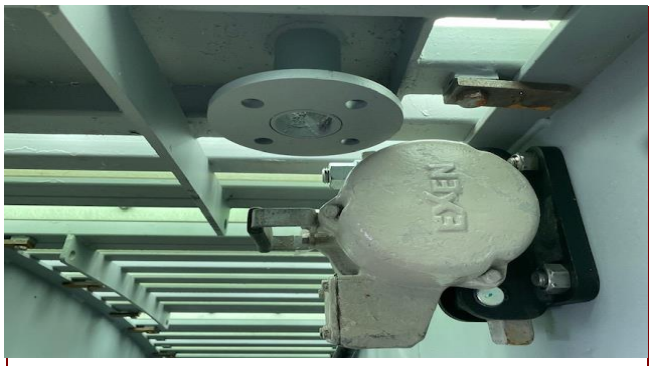
型枠バイブレーター集中制御画面



配管切り替え画面



コンフィグセントル制御盤



セントルに取り付けた型枠バイブレーター